

第4期地福計画全域計画推進懇談会を開催しました。区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの三者が取り組む全域計画に関して、委員の皆様より貴重なご意見をたくさんいただきましたのでその一部をご紹介します。

## 高齢者・障害者

### 見守り

- 常日頃の活動の中で顔と名前が分かる関係づくりがされることで、災害時の見守りや避難所への移動などの助け合いにもつながる。
- 独居で医療につながっていない高齢者が、いざという時にどのように医療につなげるかを心配している。民生委員や地域の人の力をお借りできたら良い。
- 移動販売を始めたことで買い物に来る人の見守りができ、ボランティアに参加する人も増えるなど、地域の中でのコミュニケーションの活性化につながっている。

### 場づくり

- 障害の有無にかかわらず、地域の清掃活動など一緒に参加することでお互いの理解が深まる。助けてあげる、助けてもらうではなく、“おたがいさま”の関係が地域の中でできたら良い。

## こども

### 乳幼児期の親子

- ひとり親家庭も多く、子育てに悩んでも相談先もなく孤立しているなど、いろいろな意味で寂しい暮らしをしている子育て家庭が多い。
- 本当に身近なところに場がないと通えない親子もいる。小さな地域の中に、親子に寄り添えるような場があるとよい。
- お母さんお父さんがなかなか地域の人と交流を持つ機会がない。地域にあるたくさんの情報を一元化するなど、情報を把握しやすくすることで地域に入りやすくなるのではないかな。

### 小・中学生

- 健全育成の中身が、だいぶ様子が変わってきている。ここ最近は、見てわかりやすい非行ではなくて、子どもたちが抱えているものは見えづらい、内面的な問題のことが圧倒的に多くなっている。

## まち・暮らし・その他

### 防災

- 「顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」という区の事業で作成したパンフレットは、地域でも関心が高い。地域における防災も含めた見守りや支援を共通の課題として考えることが大事。
- 各地域でどのように防災活動が行われているか、地域の方々は何に困っているのかを把握し、地域全体の防災のレベルをあげていきたい。

### 外国籍

- 外国籍の方とお互いに知り合うのは大事。地域の中で日本人と外国籍の方が触れ合えるような行事や相談できる仕組みなど、一緒に地域の住民という認識を持ち、対応できたら良い。

いただいたご意見を踏まえ、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの三者で、今後の取組について検討し、計画を推進していきます。

## ～区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの取組と考え方～

### 高齢者・障害者

独り暮らしの高齢者や日中独居の方などを普段から「洗濯物はどうか」「雨戸が開いているか」など、日常生活の中でさりげなく気にかけていくことが大切な事で、災害時の助け合いにも繋がっていくことから、引き続き、啓発等を進めていきます。



区役所

障害を特別なことと捉えず、地域の様々な活動に参加いただくことで、それぞれのお困りごとの発見に繋がります。そうした活動の輪が広がるよう、今後も進めていきます。



区役所

### こども

各地域では、子育てサロンやこどもを対象としたイベントなど様々な取組を進めていただいています。瀬谷区では、こうした子育て支援の活動団体のネットワーク「子育て応援ネット」を結成し連携の強化を図るとともに、「子育て応援カレンダー」を毎月発行し地域の子育て事業を紹介しています。より充実した活動が地域で展開されるよう、つながりづくりを進めていきます。



区役所

ケアプラザの施設内だけでなく、近隣の町内会館や公園等に出向いた取組も行っています。地域のみなさまと一緒に取組を進めていきたいので、ぜひご相談ください。



ケアプラザ

### まち・暮らし・その他

「顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」は、平成24年度に地域の関係機関と区役所で委員会を立ち上げ、地域での見守りや災害時の避難支援等の取組を一つにまとめたものです。今後もこのパンフレット等を活用していきたいと考えています。



区役所

外国籍の子育て家庭の現状と生活について知るために、ケアプラザ、区社協を対象に研修会（座談会）を予定しています。生活の現状や地域との連携、コミュニケーションの方法などについてヒントをいただき、地域支援に活かしていきます。



区社協

## 今後のスケジュール

第2回瀬谷区地福計画全域計画推進懇談会  
令和5年3月上旬(予定)

